



2022.1.11

伸和商事株式会社

巻頭言【新年の御挨拶】



新年、明けましておめでとうございます。

平素はご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。2021年は伸銅品に限らず多くの業界で激動の年だったかと思えます。そんな中、弊社が変わらず営業できるのも、ひとえにお客様をはじめ、関わる全ての方々のご協力あつての事だと思っております。

旧年中より取り組み始めたこのニュースレターも、多くの方に反響を頂き嬉しい限りです。2022年も繁忙の年になると信じ、皆様のお役に立てるよう一意専心頑張りぬく所存でございます。

本年も皆様のご多幸でありますよう心からお祈り申し上げます。

・昨年の銅建値は年明けよりジリジリ値を上げ、2月には100万円越え、5月には119万円、そして10月には120万円超えの建値をつけたと思いきや、瞬時に134万円まで上がりました。さすがにその後は落ち着き、110万円台で小幅な値動きをしていましたが、伸銅品関係者はこの値動きにざわついたのではないのでしょうか？

・震災以降、50万円〜80万円で推移してきた銅建値がここまで高騰するとは・・・しかし、急な変動を見せたのは銅だけに限りません。主要な金属は軒並み値を上げ、『メタルショック』と呼ばれる現象が起きました。その主な要因としては投資目的の国際商品への過剰なドル流入、そしてアフターコロナ後の脱炭素社会や電気自動車などの電子部品に対する直接的需要等が挙げられます。

・今後の見通しは不透明感が強く、予想はしにくいのですが電子部品の市場需要が下がるかは考えにくく、弊社としては出来る限りの在庫と、品目を確保して、お客様にご提供できるよう努めて参ります。



銅建値の推移

・伸和商事(株)の渡辺でございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。私とは言いまして、年始はどこへも出かけず寝正月を過ごしておりますので、たるんだ身体に鞭を打って朝ジョグを再開させました(汗)。

未だにコロナウィルスの感染情報に神経を使う日々が続いておりますが、早く大手を振って飲みに行きたいものです。

・さて伸和商事(株)は皆さまのおかげで今年59期目を迎えることとなります。少数ながら力を合わせ前に進んでおりますので、引き続き、変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

※コロナ禍でBtoC向けに開発した商品が、この度台東区のふるさと納税返礼商品に選定されました。



明けましておめでとうございます

編集後記

2021年はチャレンジの年でした。リン青銅トライアングルの製作、販売媒体として自社PRリニューアル、クラウドファンディングの実施、助成金の申請作業、ふるさと納税の返礼品認定など・・・このニュースレターも含め、大きなことから小さなことまで多くの事にチャレンジをしました。

本年も様々な事に挑戦したいと思っておりますので、どうか引き続き宜しくお願致します。